

<問合せ・申込先> 愛知県環境調査センター企画情報部 あいち環境学習プラザ

TEL 052-908-5150 (平日9:00~17:00)

FAX 052-916-0516

Eメール kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

派遣のほか、あいち環境学習プラザにおいて環境学習講座を行っています。

[あいち環境学習プラザ]Webページ

https://kankyojoho.pref.aichi.jp/plaza/



愛知県は「SDGs未来都市」として、SDGsの取組を推進しています。

## あいちecoティーチャー派遣講座 申込書

1回の派遣ごとに以下を記載し、FAXまたはEメールにてお申込みください。追って担当者よりご連絡します。

申込書は、上記のWebページからダウンロードできます。

※講師の調整等のため、申込から派遣決定まで概ね1~2か月かかります。時間に余裕をもってお申込みください。

依頼年月日	年 月 日 ( )				
依頼団体名					
連絡先	所属				
	担当者名				
	住所	〒			
	電話番号			FAX	
	Eメール				
通常希望する連絡手段	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> Eメール	連絡可能な時間帯	(例) 平日16:00~18:00
ご希望のコース <small>※希望の講座に○をつけてください。いずれも所要時間は45分程度です。(応相談)</small>	講座1	講座2	講座3	講座4	講座5
講師派遣希望時期等	希望日				
	時間				
	その他				
講師派遣希望場所					
目的					
対象・人数	(例) 小学校4年生・30名3クラス、親子(小学3年生~小学6年生)・20組				
備考					
申込のきっかけを教えてください。	<input type="checkbox"/> パンフレット(入手先:	)			
	<input type="checkbox"/> Webページ(サイト名:	)			
	<input type="checkbox"/> その他(	)			

- ※・ご応募いただいた方の個人情報は環境学習の実施目的以外には使用しません。
- ・講座実施に必要な資材はあいちecoティーチャーが持参しますが、プロジェクター、スクリーン、パソコン(パワーポイント)等の機器については依頼者様にてご準備をお願いします。
- ・実施日時・場所によっては、講師を派遣できない場合があります。
- ・政治活動、宗教活動及び営利活動を目的としないもののみ講師を派遣します。

2024年3月発行

### 環境学習講師

# あいちecoティーチャー<sup>※</sup>を派遣します

環境に関する授業を外部講師にお願いしたい

放課後児童クラブで楽しく学べる講座をやりたい

ごみや水のこと、子どもたちに知ってほしいな

＼思ったことはありませんか?／



**対象** 愛知県内の小学生以上 各回10名以上・40名程度まで  
(小学4年生以上推奨)

**所要時間** 45分程度(ご相談に応じます。)

**派遣先** 愛知県内小学校、環境学習施設、図書館、市町村講座・イベント、児童館、子ども会、放課後児童クラブ等

**費用** 無料(回数に限りがあるため、年度途中で受付を終了する場合があります。)

※「あいちecoティーチャー」は、愛知県が養成した環境学習講師です。





# ごみのテーマ

今話題のプラスチックごみや食品ロスの問題をテーマにしています。

## 講座① どこへいく? プラスチックごみの真実!

### 目的

プラスチックのリサイクルの流れや、プラスチックごみが海に住む生き物に与える影響を体験を通して知ることにより、プラスチックごみ問題を自分事としてとらえ、減らすための行動を促します。

### 特徴

実際に愛知県内の海に捨てられていたプラスチックごみやマイクロプラスチックを観察することができます。



### 講座の流れ

#### 導入



私たちの身のまわりにはプラスチック製品があふれていることを知る。さらに、ペットボトルに焦点を当て、どのようにリサイクルされているかを学ぶ。

#### 体験



県内の海岸で捨てられていたプラスチックごみの実物を観察した後、ごみの現状やごみが環境に与える影響を映像で知る。

#### ふりかえり



プラスチックごみの削減について、自分たちにできることを宣言シート「今からやります!」に記入し発表する。

## 講座② 食べ物とごみのさかい目はどこ? ~食品ごみをなくそう大作戦!~

### 目的

食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)についてカードゲームなどで楽しみながら学び、普段の生活で食品ロス削減に取り組む意識を育みます。

### 特徴

色々な食べ物のカードから「食べられる?」「食べられない?」をグループで考えて、食品の大切さを知ることができます。



### 講座の流れ

#### 導入



普段の生活で「食べられるのに捨ててしまうもの」がどのくらいあるのかなどをクイズを通して学ぶ。

#### 体験



様々な食材のカードを用いて、食べ物と食品ごみのさかい目についてゲームを通じて考え、発表する。

#### ふりかえり



食品ロスを減らすために実践できることをエコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し、発表する。

## 申込者の声

「小学校の低学年から高学年まで、幅広い年齢の児童が参加したが、誰にとってもわかりやすい内容だった。」  
(市職員)

「話を聞く時間、グループで考える時間、他グループの意見を聞く時間など、メリハリがあり楽しく学習できた。」  
(小学4年生の担任の先生)

「ペットボトルの巻物など、視覚教材や活動が多く、とても分かりやすかった。」(小学4年生の担任の先生)

「ペットボトルとラベル・キャップを分別する理由をきちんと教えてもらえ、子どもたちの心に響いたようだ。」  
(小学5年生の担任の先生)

「苦手なものをがんばって食べたり、最初に食べられる量を考えて給食をよそうようになった。」  
(小学4年生の担任の先生)

# 水のテーマ

生活に必要な水や生活排水などをテーマにしています。

## 講座③ 地球上の少ない水でキミは何する?

### 目的

節水することの大切さを実感するとともに、水を無駄遣いしないために何が出来るかを考え、行動につなげます。

### 特徴

1日に使っている水の量をペットボトルの絵で示した絵巻は圧巻です。



### 講座の流れ

#### 導入



地球上にある水のうち、私たちが使える水の量がとても少ないことを学ぶ。  
(講座3、4、5共通)

#### 体験



普段の生活で水をどのくらい使っているかを発表してもらい、その量を絵巻で示すことで、多くの水を使っていることを体感する。

#### ふりかえり



水を節約する工夫を考え、エコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し、発表する。

## 講座④ 実験&コースターづくり ポタポタ! スー! 節水大作戦

### 目的

実験を通じて水道の水漏れ量を見える化し、節水するために何が出来るかグループで考え、行動につなげます。

### 特徴

講座の最後に、コースターにエコアクション(環境に配慮した行動)を記入し、裏面には自由に絵を描いて持ち帰ってもらいます。



### 講座の流れ

#### 導入



地球上にある水のうち、私たちが使える水の量がとても少ないことを学ぶ。  
(講座3、4、5共通)

#### 体験



ペットボトルを使って水道の蛇口からポタポタ水が漏れている状態を作り出し、どのくらいの量を流しているか実験する。

#### ふりかえり



節水方法を考え、コースターに記入し、発表する。

## 講座⑤ 水の惑星地球を救え! ぐるぐるトルネード実験

### 目的

普段の生活で水を汚していることを理解します。トイレに関する実験を通して、きれいな水をいつまでも使い続けるために何が出来るかを考え、行動につなげます。

### 特徴

トイレトーパーとティッシュペーパーを使ったぐるぐるトルネード実験は子どもたちに大人気です。



### 講座の流れ

#### 導入



地球上にある水のうち、私たちが使える水の量がとても少ないことを学ぶ。  
(講座3、4、5共通)

#### 体験



普段の生活で水を汚していることや、水が循環していることなどを学ぶ。ペットボトルを使って渦を起し、トイレにティッシュペーパーを流すとどうなるか実験する。

#### ふりかえり



水を大切にするために何が出来るかを話し合い、発表する。